MAB-155E　ZZB2　2013年2月1日発行
＊MAB155E＊

LIXIL TOSTEM

断熱玄関引戸 枠

取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。　※▭ 内は、ロットNO.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

●本製品の組立て後の製品重量は障子1枚当たり最大で63kgになります。対応する人数で施工および建込みを行ってください。

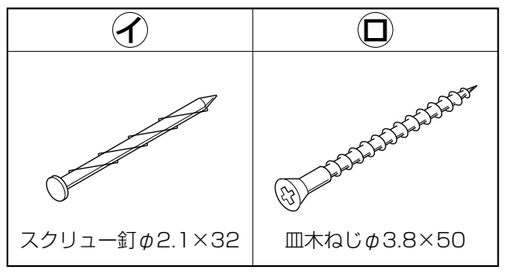
■施工される方へのお願い

●本製品は複層ガラス使用のためかなりの重量がかかります。下枠が下がらないようモルタルを充てんしてください。

●枠は必ず指定のスクリュー釘・木ねじで固定し、下枠のモルタルが固まった事を確認してから障子を建て込んでください。

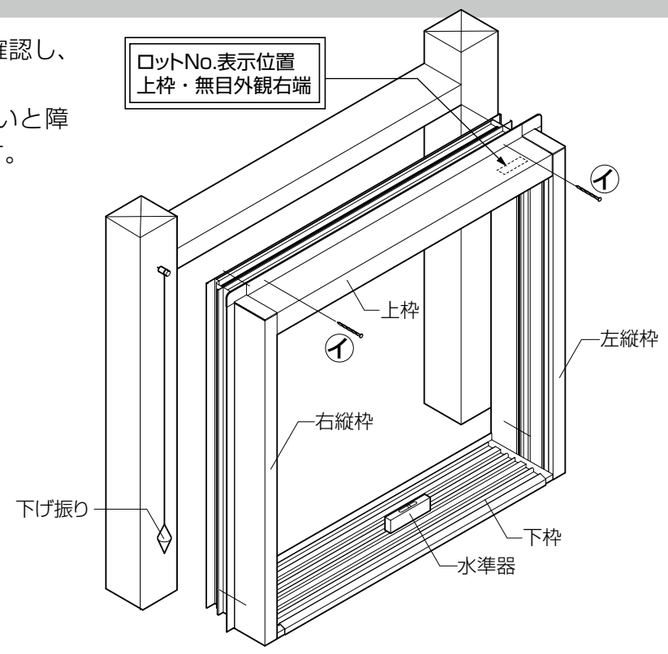
●開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。

■ねじ一覧表

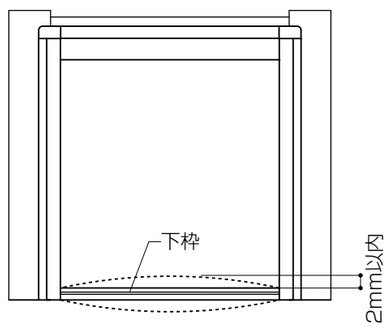
㋑	㋺
	
スクリュー釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.8×50

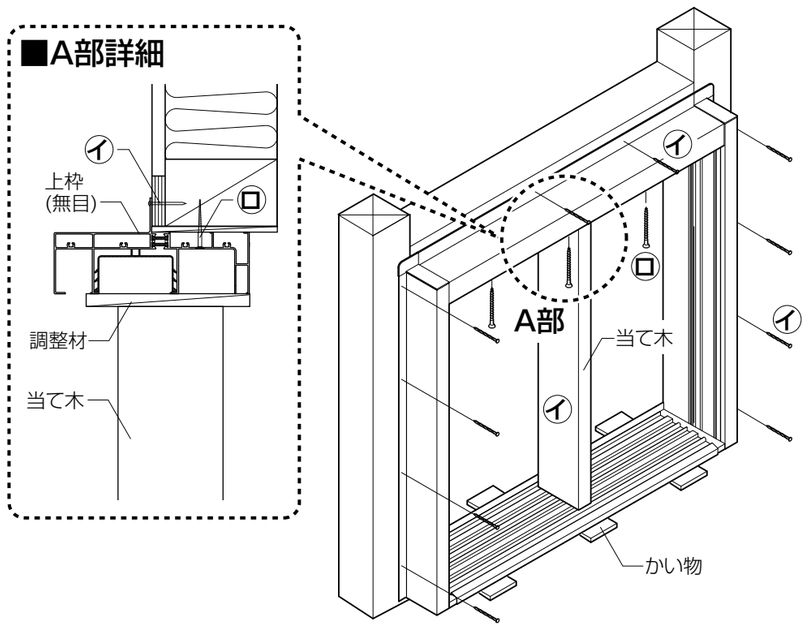
1 枠の取付け

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
※水平・垂直がでていないと障子の開閉が重くなります。必ず確認してください。



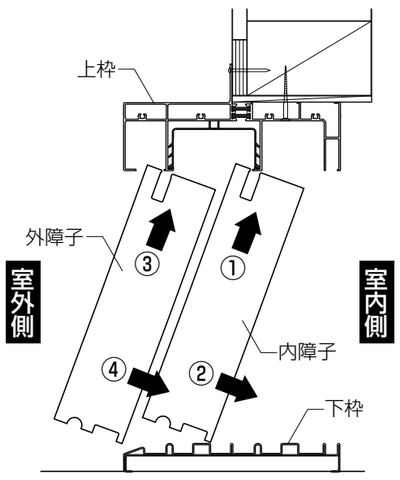
②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、本固定します。
※下枠はかい物・当て木等をして水平を出し、モルタルの充てんにより2mm以上の狂いが出ないようにしてください。
2mm以上の場合、障子・網戸が建て込めない場合や性能が低下することがあります。





2 障子の建込み

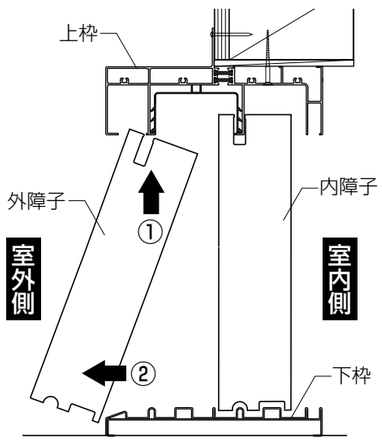
●図の順に、室外側から建て込みます。



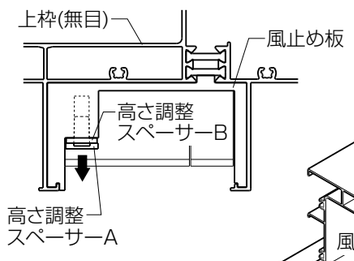
3 障子外れ止めの調整

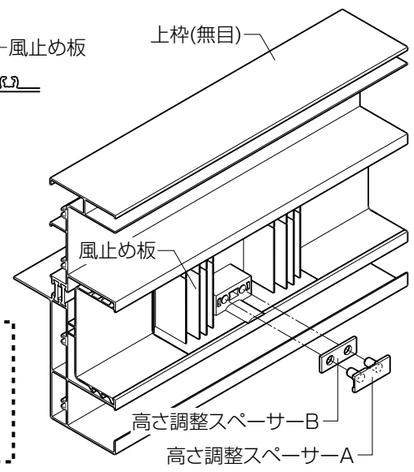
●戸車調整をしても、外障子の開閉に異常がある場合(召合わせ上部の枠に取り付けられている風止め板と障子が干渉する場合)は、風止め板の高さを調整します。

①外障子を外します。



②召合わせ上部の風止め板に取り付けられている高さ調整スペーサーA・Bを外します。
③高さ調整スペーサーAのみ、再度風止め板の穴に差し込みます。(この状態で2mmの調整になります。)
④外障子を建て込みます。
※まだ開閉に異常がある場合は、高さ調整スペーサーAも取り除いてください。(この状態で4mmの調整になります。)





お願い

●調整が必要な時以外は、スペーサーを外さないでください。障子外れ止めとしての機能がなくなります。

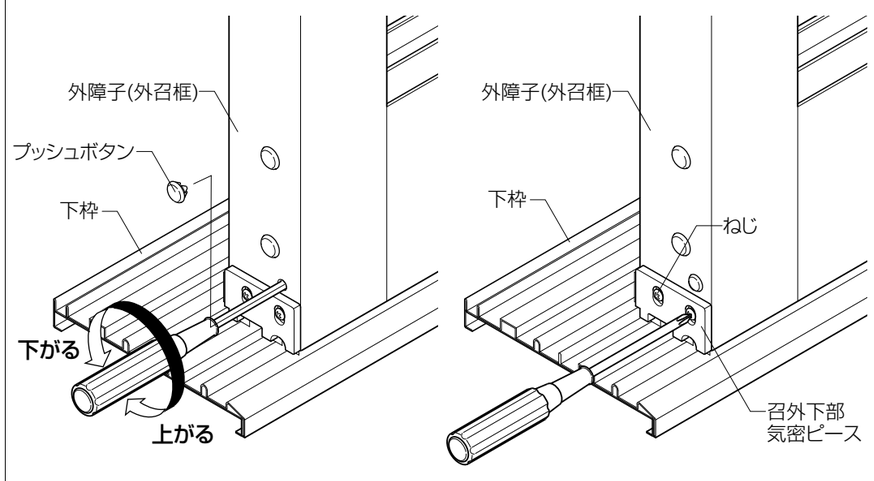
4 建付け調整

1.戸車調整

●戸車は、最も下がった状態で出荷されます。上げたい場合のみ、プッシュボタンを外して調整します。(調整後はプッシュボタンを押し込んでください。)

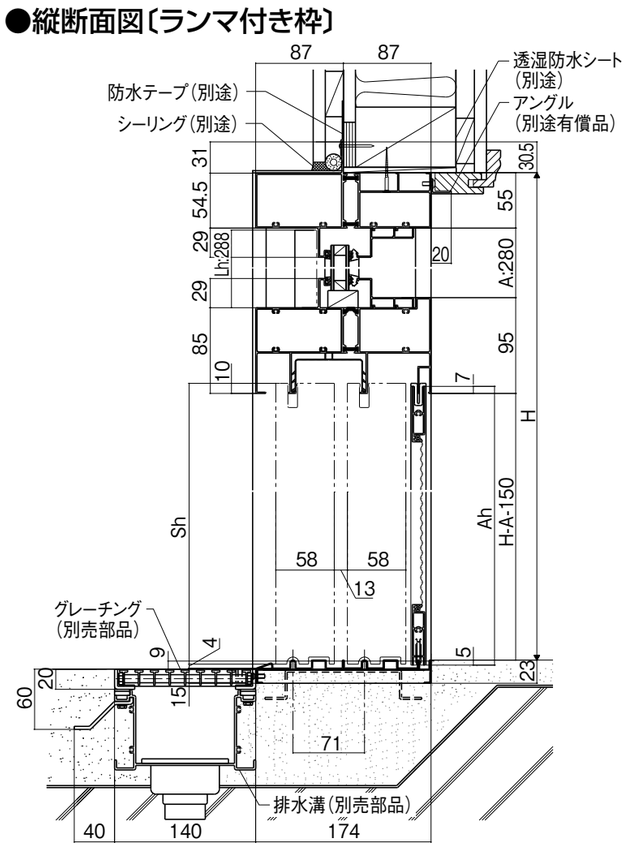
2.召外下部気密ピースの調整

●障子を閉めた状態で召外下部気密ピースのねじをゆるめて下げ、下枠に当ててねじを締めます。(ヒレ保護のため、召外下部気密ピースは、出荷時に上げてあります。必ず下げて、すき間をなくしてください。)

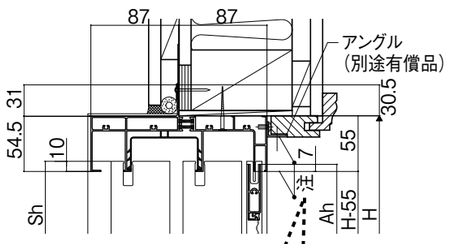


■参考納まり図

●縦断面図〔ランマ付き枠〕



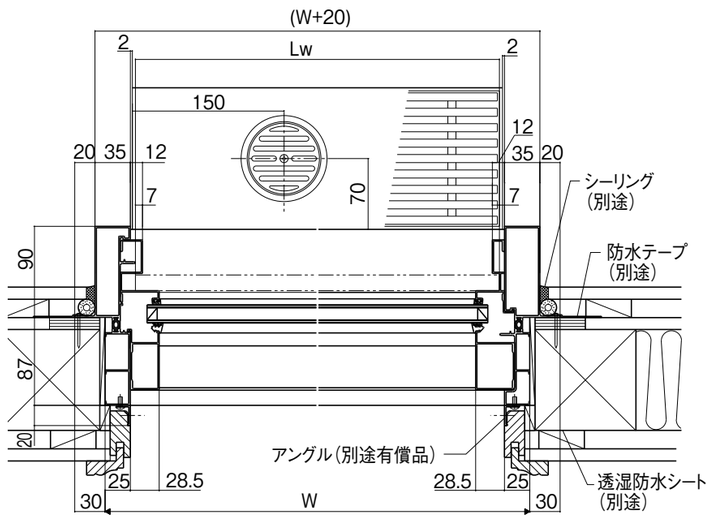
●縦断面図〔ランマなし枠／上枠部〕



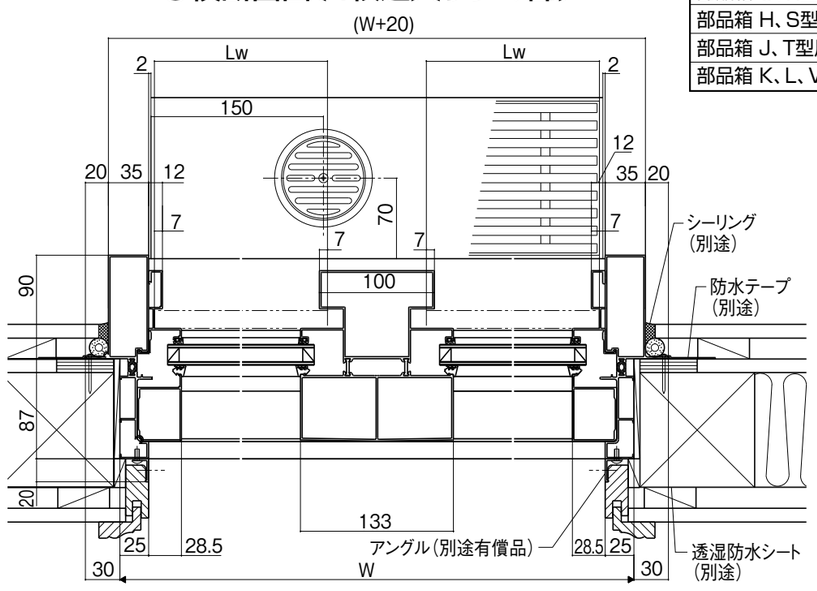
お願い

●窓枠とのチリ寸法は、25mm以上確保してください。網戸の取付け・取外しができなくなります。

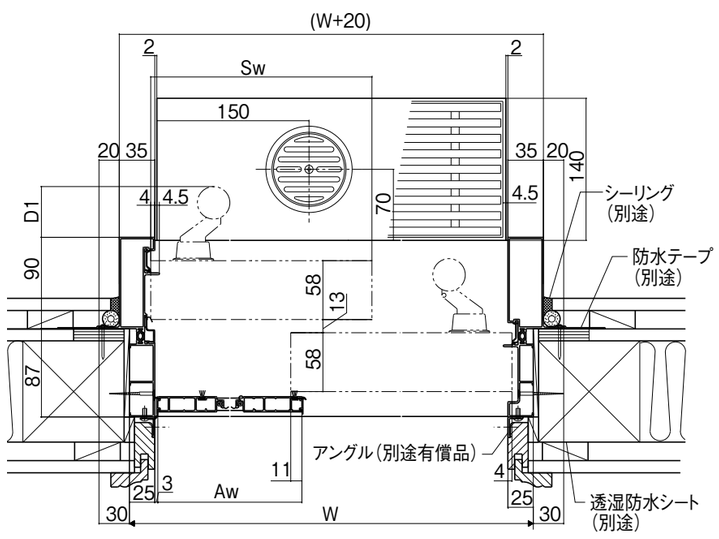
●横断面図〔2枚建〕〔ランマ部〕



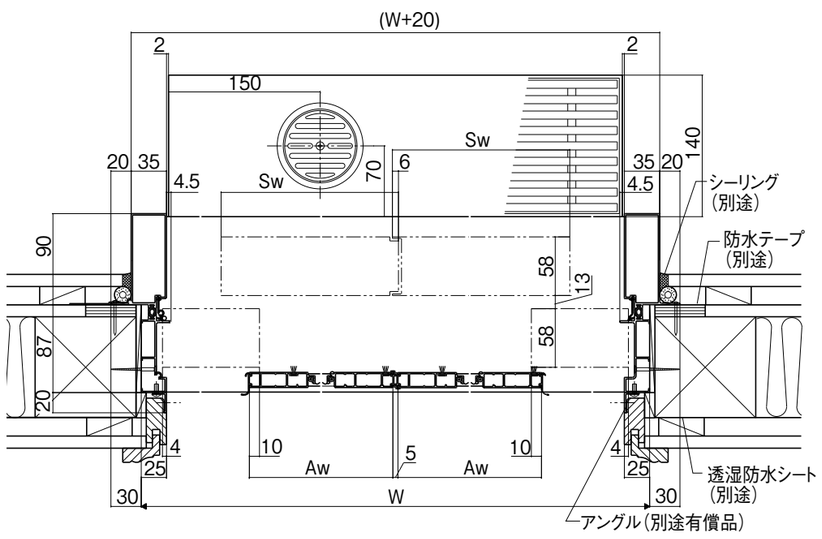
●横断面図〔4枚建〕〔ランマ部〕



●横断面図〔2枚建〕〔障子部〕



●横断面図〔4枚建〕〔障子部〕



■部品箱区分別把手出寸法

部品箱区分	D1
部品箱 G、R型用	42.5
部品箱 H、S型用	48
部品箱 J、T型用	50
部品箱 K、L、V、W型用	57

株式会社 LIXIL